

キャラクター名  
ダレダヨーネ二世

プレイヤー名

メインクラス	アコライト	Lv.1:		レベル	3
サポートクラス	アルケミスト	Lv.1:	アルケミスト	性別	女
称号クラス				年齢	27歳
種族	フィルボル			境遇	裏切り
出自 (効果)	王侯貴族			目標	奪還

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	10	9	9	9	9	13	9
ボーナス	3	3	3	3	3	4	3
クラス修正	0	2	0	2	1	1	0
他修正							
能力値	3	5	3	5	4	5	3

HP	41
MP	50
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	マスケット	40m	-1	7	0	0	0	-5	0
左手									
頭部	ハット					1			
胴部	クロスアーマー					3			
補助	マント					1			
装身具									
能力値			5	0	3	0	5	7	8
スキル							3		
その他									
総計(右)			4	7					
総計(左)									
総計(両)									m
ダイス数		2 d	2 d	2 d					

能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	4		4	+ 2 d
トラップ解除	5		5	+ 2 d
危険感知	4		4	+ 2 d
エネミー識別	5		5	+ 2 d
アイテム鑑定	5		5	+ 2 d
魔術判定	5		5	+ 2 d
呪歌判定				+ d
鍊金術判定	5		5	+ 2 d

現在重量： 9

最大重量： 10 所持金： 1340

## 所持品

MPポーション×4
冒險者セット×1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
マジックレジスト	★	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果：作成時に魔法防御力+3								
プロテクション	1	3	DR直後	20m	単体	自動成功	1/MP	
効果：対象が受けた予定のダメージに-[SLd]								
クイックヒール	1	5	イニシアプロセス	-	自身	自動成功	-	
効果：このスキルを使用することで、《ヒール》同時に使用することができ、行動済にもならない。1シーンに1回使用可能。素早く神に祈りを捧げることで、傷ついた者を回復するスキル。								
ヒール	1	4	メジャー	20m	単体	魔術判定	-	
効果：対象にHP回復を行う。対象に魔術を使用し、【HP】を[3D+C_L×3]点回復する。クリティカル:ダイスロール増加。神の力によって、対象の怪我を瞬時に治療する魔術。								
ガンスミス	1	-	アイテム	-	自身	-	-	
効果：マスケット(P169)を取得する。このアイテムはあなただけが使用、装備できる。								
エリクサー	1	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果：ダイスを振って効果を求めるアイテムのみに有効。種別:ポーションのアイテムの効果に+1dする。								
レイズ	1	10	メジャー/アクション	20m	単体	魔術判定	-	
効果：対象が戦闘不能の時に有効。戦闘不能状態から回復させ、2d6回復させる。対象は行動済となる。								
ウェポンファージ	2	8	メジャー/アクション	-	自身	鍊金判定	-	
効果：ダメージ増加を行う。武器攻撃のダメージに+SLdする。スキルを使用するときにダイスロールを行ない、増加する値を決定する。この効果はシーン終了時まで持続する。								
アームズマスター:鍊金銃	1	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果：鍊金銃の命中判定に+1d								
キュア	1	5	メジャー	20m	単体	魔術判定	-	
効果：対象が受けているバッドステータスをすべて回復する。クリティカル:コスト0 神の力によって、対象を解毒したり体調や状態を元に戻す魔術。								
ヒストリー	1	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果：さまざまな町の概要、歴史、人物、過去にあった出来事などについて知っているかどうかの「知力」判定に+1dする。文献を読んだことがある、あるいは噂話を聞いたことがあるなど、あなたが多くの町や町のことを見聞きしていることを表すスキル。								
ファーストエイド	1	-	メジャー	至近	単体	器用	-	
効果：難易度10の【器用】判定を行なう。これに成功すると、戦闘不能となっている対象の戦闘不能を回復し、さらに【HP】を1に回復する。このスキルによって戦闘不能から回復した対象は行動済となる。応急手当を行なったり、意識を取り戻せたりするスキル。								
効果：								
効果：								
効果：								

ダレダヨーネはある、フィルボルの王国の娘として産まれる、2人の兄を持ち、彼女は王女として、産まれた。幼い頃から、勉学に励んでいて、英才教育を施されていた、かなりの勉強好きで、本を読むのが非常に好きだった、兄弟達には、唯一の妹で、女性であったことから、あまり、良い扱いは受けず、それに対してギャップを感じていたことから、自らを僕と名乗り、髪型もボーアッシュ、にし、男性のように振舞っていた。そんなある時、彼女が20歳になった、ある時、病状の為、王様が死去、新たに、王を継ぐのはどちらだという、話となっていた『どちら』というのは、ダレダヨーネは女性であった為、王にはならない為であった、その為、兄弟である『ルナハウゼン』と『チクタス』の2人のどちらが、王を継ぐかという話になっていた。話し合いの結果、『ルナハウゼン』が王位に就くことになった、彼女もその王位に就くことに対して、納得はしたが、昔から自らの事を下に見てきた、長男である為祝福はしなかった。そして、彼が王位に就いてから、宮廷が少し騒がしくなった、彼は、多くの客人を招くようになつたからである。彼女は静かな宮廷が好みだった為か、顔を出すことも少なくなつて、しかし、兄貴である『チクタス』は、彼女をよく、その客への失礼のないようにモテなせと、言っていた。無視することもできず、モテなしをするようになるのだが、その内容というのも、あまり良いものではなかった。下世話で外道な貴族と一緒に踊ったり、無理矢理性的な奉仕を強要されたり、扱いが非常にひどく、最低最悪なものだった、これらを王である『ルナハウゼン』に伝えても、黙殺されるだけでしかなく、彼女は徐々に歪んでいく、宮廷に出ようとした時、そこで、彼女はもう一つの絶望を知る、自らに対する、嘘っぽちで、信憑性などない、悪い噂が広がっていたのだ、彼女はたしかに、唯一の女性ではあったが、そこまでされるほど蔑まれるのかと、自らが女性であることの恨み、兄弟達への恨みを募らせていった、そんなある日、彼女は『ルナハウゼン』にある時、婚約者が決められ、彼と結婚するように言われた、彼女は、せめて、自分の道を貫きたいとの時は思い、そして、遂に、王国から抜け出した、自らの本名を隠し、逃げ出した王女であることを隠し、自らを死んだ父の名前を継ぐかのように、二世と名乗って。